デバッギングエミュレータの設定について

2.1版 2023年10月02日

1. 概要

本アプリケーションノートでは、CS+で使用するデバッギングエミュレータ(E1 エミュレータ、E2 エミュレータ Lite)の設定方法 について説明いたします。

CS+で使用するデバッギングエミュレータにつきましては、種類が複数あり、お客様が使用されているものと弊社サンプルプログラムで設定されているものが違う場合がございます。

その場合には、本アプリケーションノートの内容をご確認いただき、デバッギングエミュレータの設定を行ってください。

2. 開発環境について

本アプリケーションノートでは、下記の開発環境にて説明します。

名称	バージョン	用途	備考
総合開発環境 CS+	V.8.03.00	統合開発環境	
CC-RX	V.2.08.01	ビルドツール	評価版使用可能
E1 エミュレータ	V1.03.00.0 9	デバッギングエミュレータ	
E2 エミュレータ Lite	Rev.00	デバッギングエミュレータ	

3. エミュレータの設定が違う場合

デバッグ・ツール(デバッギングエミュレータ)との接続時に下記のエラーが発生した場合には、CS+の設定が正しくないことが考えられます。

「4. デバッギングエミュレータの設定方法」を参照していただき、設定内容をご確認ください。

15-(E1899	9000)		×		
				こちらの内容は、	接続の手順に
	デバッグ・ツールの開始に失敗しました。			よってことなりま	きす。
	[エラーの直接原因] エミュレータ()に接続できません。(E1899000)				
+ お問い者	らわせ情報作成(1)	OK へルプ(H		

4. デバッギングエミュレータの設定方法

デバッギングエミュレータの設定を行う場合、まず、CS+にて、デバッグを行うプロジェクトを開いてください。 次に、使用するデバッギングエミュレータに合わせて、下記の設定を行ってください。

4.1 E1 エミュレータを使用する場合

E1 エミュレータを使用する場合には、下記の設定を行ってください。

① エミュレータの選択をします。

「デバッグ・ツール名(デバッグ・ツール)」を右クリックし、ポップアップメニューを開き、「使用するデバッグ・ツール」から「RX E1(JTAG)」を選択します。

ap_rx71m_0a_usbfunc_sample_cs - CS+ for CC - [ブ	プロジェクト・ツリー]
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) プロジェクト(P) ビルド(B)	デバッグ(D) ツール(T) ウインドウ(W) ヘルプ(H)
🏟 79-F(S) 🛃 🗐 🕷 🐚 👘 🖉	♥ 🏦 🐥 🛝 🔹 100% 👻
🔲 💭 📮 🔍 🗗 💋 ソリューション一覧(S)	
דעליטע 🕂 🐺 🐺	
ي 2 @ 2	
¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹	2) ▶ RX E2(2) RX E2 Lite(E) RX E1(Serial)(L) ♥ RX E1(JTAG)(G) RX E20(Serial)(R) RX E20(JTAG)(T) RX 52□ℓ−タ(S)

② JTAG クロックを設定します。

「デバッグ・ツール名(デバッグ・ツール)」をクリックして開いたプロパティの「ターゲット・ボードとの接続」の中の「JTAG クロック[MHz]」を16.5 に設定してください。

プロジェクト・ツリー	🚰 ว่อเ/ริง	• x
2 🕜 🙎 📓	🔊 RX E1(JTAG)	- +
ap rx71m 0a usbfunc sample cs (フロジェクト)	◇ ターゲット・ボードとの接続	^
	エミュレータから電源供給をする(最大200mA) いいえ	
	通信方式	
	JTAGクロック[MHz] 16.5	
	× 777992	
	IDコードの人力モード IDコードを16進32桁で指定	
		FF
	ワークRAM開始アドレス HEX 1000	
i src	「ワークRAMサイズDドイト] 1280	

4.2 E2 エミュレータ Lite を使用する場合

E2 エミュレータ Lite を使用する場合には、下記の設定を行ってください。

① エミュレータの選択をします。

「デバッグ・ツール名(デバッグ・ツール)」を右クリックし、ポップアップメニューを開き、「使用するデバッグ・ツール」から「RX E2 Lite」を選択します。



② JTAG クロックを設定します。

「デバッグ・ツール名(デバッグ・ツール)」をクリックして開いたプロパティの「ターゲット・ボードとの接続」の中の 「JTAG クロック[MHz]」を 6.00 に設定してください。



ご注意

- ・本文書の著作権は株式会社アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書に記載されているサンプルプログラムの著作権は株式会社アルファプロジェクトが保有します。
- ・本サンプルプログラムで使用されているミドルウェアおよびドライバの著作権はルネサス エレクトロニクス株式会社が保有します。
- ・本文書に記載されている内容およびサンプルプログラムについてのサポートは一切受け付けておりません。
- ・本文書の内容およびサンプルプログラムに基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点、誤りなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡 ください。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

商標について

- ・RX はルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・CS+はルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・E1 エミュレータはルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・E2 エミュレータ Lite はルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト

〒431-3114 静岡県浜松市中央区積志町 834 https://www.apnet.co.jp E-Mail: query@apnet.co.jp